

**2021-2022年度 333-E地区  
第1副地区ガバナー 立候補届出書**


ライオンズクラブ国際協会333-E地区  
地区ガバナー 山川 洋 殿



立候補種別	第1副地区ガバナー	
届出年月日	2021年 2月 12日	
4リジョン	1ゾーン	土浦ライオンズクラブ
フリガナ 氏名	ワタナベ ヒロシ 渡辺 博	
生年月日	西暦1970年 9月 24日 生(50歳)	
フリガナ 住所	ツチウラシカワグチ 〒300-0033 土浦市川口1-11-8	
電話・FAX・携帯	TEL: 029-821-0226 FAX: 029-824-0100 携帯: 090-3048-4800	
メールアドレス	daihyou@kzusaya.co.jp	
ライオン歴	別紙	
学歴	国土館大学政経学部 卒業	
勤務先名・役職	上総屋不動産株式会社 代表取締役	
勤務先住所	〒300-0033 土浦市川口1-11-8	
公職・受位・受賞・罰	土浦警察署長感謝状 (公社)茨城県宅地建物取引業協会感謝状	
他の所属団体内容	(公社)日本賃貸住宅管理協会東関東ブロック監事 (公社)茨城県宅地建物取引業協会 全国賃貸管理ビジネス協会 南関東ブロック理事 茨城県企業防衛対策協議会土浦地区推進協議会 副会長 NPO法人マリッジクラブ理事	

私儀、ライオンズクラブ国際協会333-E地区 2021-2022年度第1副地区ガバナー


として立候補したく、クラブ推薦状を添え上記の通り届出します

2021年 2月 12日	土浦ライオンズクラブ
立候補者署名	渡辺 博 

## 第1副地区ガバナー候補者略歴

土浦ライオンズクラブ

会 長

狩野 良和 

ふりがな	わたなべ ひろし
立候補者氏名	渡辺 博
ライオンズクラブ入会日	西暦 2006年 9月 1日入会
LCIF1000\$ 献金口数	14 口
	西暦 2021年 2月 1日現在
東洋東南アジアフォーラム (OSEALフォーラム) 参加実績	8 回参加
	福岡・シンガポール・インチョン バンコク・香港・台南・海南島・広島
国際大会参加実績	6 回参加
	釜山・ホノルル・福岡・シカゴ ラスベガス・ミラノ
ライオンズクラブ 国際会長アワード受賞有無	メルビン・ジョーンズ・フェロー 14回 国際会長アワード 1回 複合地区議長アワード 1回 地区ガバナーアワード 1回

### 地区ガバナー候補者の資格要件

国際付則第9条第4項規定

- a グッド・スタンディングの正会員である はい ・ いいえ
- b 所属クラブで推薦した例会開催日 2021年 2月 12日
- c
- |             |      |   |      |    |
|-------------|------|---|------|----|
| クラブ会長       | 2015 | ～ | 2016 | 年度 |
| クラブ理事 ①     | 2016 | ～ | 2017 | 年度 |
| クラブ理事 ②     | 2017 | ～ | 2018 | 年度 |
| ゾーン・チェアパーソン | 2019 | ～ | 2020 | 年度 |
| 第2副地区ガバナー   | 2020 | ～ | 2021 | 年度 |

2021-22 年度第 1 副地区ガバナー立候補致しました 4 R 1 Z、土浦ライオンズクラブ所属、L 渡辺博でございます。

自分が所属しているクラブ例会で毎回、「ライオンズの誓い」を全員で唱和しております。冒頭に「我々は知性を高め」という言葉があります。

私は 2006 年 9 月に土浦ライオンズクラブ入会して以来、今日に至るまで 333-E 地区内の多くのクラブへの例会やアクティビティに参加し、各クラブの取組みについて勉強させて頂きました。その中で各クラブの抱える課題や悩み、問題点、国際協会の大きな変革や L C I F 制度の改変、L C I フォワード（糖尿病・小児がん・食糧支援・環境・視力）やライオンズクラブ法人化などについて、各クラブから多くのご意見を拝聴させて頂いて参りました。

時代とともにライオンズクラブも変革していかなければならないと同時に、アクティビティを通じ、苦楽をともにするメンバーの知識・知性を高めて地域社会に必要とされる団体・集団でありたいと考えます。その為には次の 2 点に注視していきたいと考えております。

#### 1) 「感謝・感激・感動の奉仕活動へ」

ライオンズクラブ原点はクラブ活動アクティビティ奉仕活動に尽きると思います。

地区ガバナー・キャビネットの役目は各クラブを支援し、各クラブが元気になって頂くことに全力を尽くすことと考えます。時代の流れに逆らえない！という言葉があります。各クラブ歴史と伝統を守りながらクラブ活動アクティビティを存続されていると思いますが、時代にあったアクティビティに着手することも重要と思います。そして地域社会から感謝・感激されるアクティビティを通じ、感動受けるような社会奉仕に繋げて参りたいと考えます。

また、たくさんのクラブを訪問させて頂きましたが、少人数のクラブでも心に残るよきアクティビティを行っているクラブも多くあります。このような素晴らしい成果・魅力を発信し、クラブ活性化を図って参ります。

#### 2) 「地区キャビネット」はクラブ後方支援

ライオンズクラブには大人数のクラブから少人数で運営されているクラブ、様々です。

毎年、地区ガバナーからは「会員増強！」「L C I F 献金！」の言葉が合言葉のように毎年言い伝えられてきてます。

当然にエリアの問題やクラブ活動方向性など、各クラブ諸事情が存在していることも事実です。

しかし国際協会としてもこれらの 2 つのキーワードに力を注いでいる理由もあります。

会員増強は奉仕活動の原点であり、人数が増えれば今まで以上の新しいアクティビティを誕生させ、若い世代のメンバーを入会させることにより、時代に合った新しいアクティビティが生まれます。

また「L C I F」についても献金すること同時に、使う権利もあることも知って頂きたいです。

今年度は第 2 副地区ガバナーとして山川洋地区ガバナーのそばで 1 年間、勉強させて頂きました。そこで感じた事といたしまして、地区ガバナーは各クラブ・メンバーへ耳を傾け、ひざを付け合わせ、キャビネット各委員会が 333-E 地区全 80 クラブをバックアップしていく、そんなキャビネットにしていきたいと考えてます。